



令和8年6月号

## この号の内容

ページ1～2

- ・令和8年春季火災予防運動 一日消防署長

ページ3

- ・各種ポスターと標語の紹介

ページ4

- ・令和8年度危険物取扱者保安講習のご案内

ページ5～6

- ・「感震ブレーカー」に関する条例改正（令和8年3月31日施行）



あぶくま消防本部

予防課だより

【広報誌】

# 令和8年春季火災予防運動 一日消防署長

令和8年3月4日（水）春季火災予防運動の一環として、住民の皆様の防火意識の向上を目的に、社会福祉法人敬長福祉会 チアフルこども園の佐藤雛乃先生が「一日消防署長」に就任しました。佐藤先生には消防署での業務のほか、園児たちと一緒に防災クイズや消防車搭乗体験など、火災予防の啓発と広報活動にご協力いただきました。



## 【 就任式 】

## 【 通常点検 】



## 【 決裁業務 】



## 【 こども園訪問 】



## 【 防災クイズ 】

## 【 消防車搭乗体験 】



# 各種ポスターと標語の紹介

## ・2026年度防火ポスター

### 2026年度全国統一防火標語

#### 「火の確認 いい日を支える いい習慣」

この標語は、火災の原因が多様化・複雑化するいま、火を確認することを知覚に於いて、安心で平穩無事な毎日を過ごしてほしいとの願いから生まれた標語です。

ポスターは、タレントの塚本恋乃葉さんをモデルに起用して、住宅防火対策のほか近年増加しているモバイルバッテリーの発火による火災への対策などに活用されます。塚本さんの明るく元気な笑顔とともに、日々における防火意識の大切さを呼びかけます。

## ・令和8年度危険物安全週間推進ポスター

### 令和8年度危険物安全週間推進標語

#### 「つかみ取れ！めざす無事故の頂を」

この標語は、危険物を取扱う事業所や市民に向けて、無事故の達成を目指す意識を高めるメッセージとして決定しました。

令和8年度の危険物安全週間は、6月7日（日）～13日（土）です。危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進し、危険物事故の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかけます。イメージキャラクターは、スポーツクライマーの安楽宙斗選手を起用しています。



2026年度防火ポスター



令和8年度危険物安全週間推進ポスター

# 令和8年度危険物取扱者保安講習のご案内

消防法(昭和23年法律第186号)第13条の23の規定により、危険物の取扱作業の保安に関する講習が実施されます。

## 1 申請受付期間

令和8年6月1日(月)から令和8年6月20日(土)まで

## 2 受講手数料

5,300円(非課税)

## 3 オンライン講習について

従来の会場講習に加えパソコンで完結できるオンライン講習も実施しています。受講月の受講承認から1か月以内であれば自分のペースで視聴し期間内に何度でも学べます。

## 4 オンライン講習日程

受講月	定員
令和8年 8月	300名
令和8年 9月	300名
令和8年10月	300名
令和8年11月	150名
令和8年12月	150名

受講期間：受講開始日から1ヵ月

受講時間：講義時間及び効果測定含めて約3時間

※3時間続けて受講することも、期間内に数回に分けて受講することもできます。

詳細については、一般社団法人宮城県危険物安全協会連合会のホームページ「<https://www.miyakiren.jp>」で確認ください。

# 「感震ブレーカー」に関する条例改正（令和8年3月31日施行）

## 1 改正の背景

令和6年1月1日に発生した輪島市大規模火災を受けて開催された「輪島市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」で取りまとめられた報告書において、大規模地震時の電気火災（通電火災）対策が重要であるとされたことを踏まえ、住宅における火災予防を推進するため、火災予防条例を一部改正しました。

## 2 通電火災とは？

停電の復旧により電気機器が可燃物に触れていたり、壊れた電気機器に電気が通ることによって発生する火災です。自然災害などの影響による停電から、電気が復旧した際が特に危険で、過去に発生した大きな災害の後には、通電火災が発生しています。

## 3 感震ブレーカーとは？

感震ブレーカーとは、一定の揺れを感知すると自動で電気を止める装置です。自然災害などで自宅から避難する際には、家を出る前にブレーカーを落とすことは、火災対策として広く知られています。しかし、地震はいつ発生するかわからず、外出時などに発生した場合には対応ができません。感震ブレーカーが設置されていれば、揺れを感知して自動的に電気を遮断してくれるので、事前にリスクに備えることができます。



お知らせ

地震の時、自動で電気を遮断できる  
感震ブレーカーをつけましょう

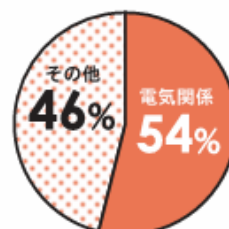
ご存じですか？

地震による**火災の過半数**は  
**電気が原因**という事実。



東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が**電気関係の出火**でした。地震が引き起こす電気火災とは、**地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災**のことです。

東日本大震災における火災の発生原因



※日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より作成

# 製品ごとの特徴・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！

## 分電盤タイプ(内蔵型)

費用：約5～8万円(標準的なもの)  
※電気工事が必要

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

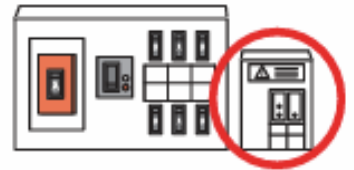


## 分電盤タイプ(後付型)

費用：約2万円  
※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能



## コンセントタイプ

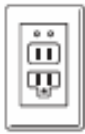
費用：約5千円～2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

(埋込型)

壁面などに取り付け  
て使うもの

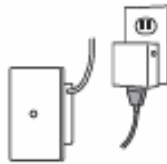
※電気工事が必要



(タップ型)

既存のコンセントに  
差し込んで使うもの

※電気工事が不要

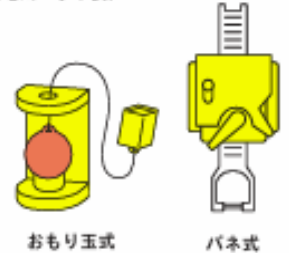


## 簡易タイプ

費用：約2～4千円程度

※ホームセンターや家電量販店で購入可能  
(電気工事不要)

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



## 感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】

### 基本動作

地震探知後、3分が経過すると、主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。



### 地震探知後3分以内に停電が発生した場合

復電直後に主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

**感震ブレーカーの設定に際しては、急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組むことが必要です。**

- 生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
- 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。

※感震ブレーカーの設置に関わらず、地震時やその他の自然災害時にも大規模な停電が発生するおそれがあることから、平時から停電対策に取り組みましょう。

**耐震対策等と合わせて取り組むとさらに効果的です。**

- 避難路の確保等のために、建物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組みましょう。
- 復電する場合には、事前にガス漏れ等がないことの確認や、電気製品の安全の確認を行ってください。
- 仮に、復電後、焦げたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカーを遮断し、再度、安全確認を行い、原因が分からない場合には電気の使用を見合わせる必要があります。
- 定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品等の交換を行きましょう。

※感震ブレーカーの設置に際しては、急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて行うことが重要です。また、建物の耐震化や家具の転倒防止などの耐震対策と合わせて取り組むとさらに効果的です。

**あぶくま消防本部 予防課**  
宮城県岩沼市末広一丁目6番32号  
TEL：0223-22-5191  
FAX：0223-22-5547